

事業名	主な事業内容	指標 (KPI)重要業績評価指標	地方創生への効果/その理由	今後の方針/その理由
夢と希望を叶える就労支援事業				
地域に根差し、未来を担う企業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地元企業、高等学校等及び行政が連携したオンライン形式による企業ガイダンスの実施 ■ 高等学校等への企業情報誌配布 ■ 小学生を対象とした企業見学会の実施 	A: 高校新卒就職者のうち、地元企業への就職者の割合(%) (目標値) ⇒ (実績値) A: 15.0 ⇒ 16.5	➤ 非常に効果的であった 学校や地元企業の協力により、高校生向けのオンライン形式による企業ガイダンス及び小学生向けの企業見学会を開催し、地元企業の認知度向上に資する取り組みができ、目標値を達成し、非常に効果があった。 また、開催にあたり学校や企業との連携体制が確立できたことも大きな効果があった。	➤ 計画通りに継続 高校生向けの企業ガイダンス及び小学生向けの企業見学会などの活動を継続して実施することで、地元企業の認知度を向上させ、若者が地元に残る環境を作りたい。 また、中学生向けの企業見学会も感染対策を行いながら実施していく。
女性の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 女性の就労支援に特化した講座の開催(オンライン及び会場視聴) ■ ビジネスマナーの獲得やスキルアップを目標とした講座の開催 ■ 企業に対し、女性の活躍促進に関するチラシの配布 	A: 就労支援講座受講者の就労者数(人) (目標値) ⇒ (実績値) A: 10 ⇒ 5	➤ 効果があった 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、オンライン及び会場視聴での講座を実施したが、就労者数の目標値に達しなかったが、他の講座の開催、企業に対する啓発活動を通じて女性の就労支援に取り組んだことにより、一定の効果があった。	➤ 業務改善 女性の就労支援の実施は、若年女性の市外流出を抑制するために必要であり、令和5年度以降の見直しに向け、事業を継続的に実施しつつ、より効果的な取組の検討を行う。また、講座開催以外の方法による、女性の就労支援の広報を通じ、企業や女性に働きかけていく予定である。
障がい者の就労支援と雇用機会の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ■ 就労継続支援事業所での職業訓練及び相談支援事業所での相談事業の実施 ■ 指導員のスキルアップのためのセミナー開催 	A: 障がい者の就労支援事業所から一般就労への移行数(人) (目標値) ⇒ (実績値) A: 5 ⇒ 6	➤ 非常に効果的であった 就労移行支援事業所、就労継続支援事業所(A型・B型)、就労定着支援事業所、相談支援事業所等での適切な指導、助言により目標値を達成でき非常に効果的であった。	➤ 計画通りに継続 引き続き、各種事業所での訓練や助言を行うと共に、指導員のスキルアップのためセミナー等を開催する。 また、新規就労者向けの事業所見学を行い、就労者の就労に対する意識付けを行っていく。
ふるさと未来創造プロジェクト(稼ぐ観光地再生)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市内宿泊施設が取り組むおもてなしの向上及び施設改修に対するの助成。 ■ 県北4市町と県との連携によるインバウンド向けの着地型旅行商品の見直し及び新たな商品の造成。 ■ e-スポーツの情報共有、認知度向上。 ■ 「やまがびと」の制作、配布。 	A: 日帰り客数(千人) B: 宿泊客数(千人) (目標値) ⇒ (実績値) A: 4,392 ⇒ 2,591 B: 360 ⇒ 158	➤ 効果があった コロナウイルス感染拡大防止により外出自粛が続き、令和2年度のような全国版「Go To トラベル」が実施されなかった影響もあり宿泊者が減少したものの、日帰りは微増し、一定の効果はあった。 また、九州各県在住者向けの市独自の宿泊助成キャンペーンを実施したところ、その利用者割合は約70%が福岡県からの来訪だった。また、オリジナルアイスの販売や山鹿灯笼踊り踊り手募集についてのSNS広告の反響が予想よりも大きく、本市が近年福岡県に向けてPRを行っている成果が現れていると考えられる。	➤ 取組追加等でさらに発展 今後、県北4市町による魅力をさらに深めながら、滞在時間が長くなるよう取り組みを続けるとともに、インバウンド受け入れの拡大に向けても引き続き進めていく必要がある。 また、やまがびとを引き続き制作し、市民間交流や旅行者の周遊効果拡大を図っていく。 e-スポーツ事業の関係団体や規模が拡大しつつあるため、各分野での取組を進展させながら、交流人口の拡大を狙う。 豊前街道のにぎわいづくりなどの受入態勢充実の取組とあわせて、福岡県をターゲットとしたプロモーションを実施することで、入込客の増加や消費額の増加に繋げる。
観光戦略プロモーション(福岡ターゲット構想)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 山鹿和栗を使ったオリジナルアイスの限定販売、栗紹介の動画・HP内ページ制作 ■ 博多大丸と提携し、山鹿の農産物を使った商品の開発・販売 ■ WEB番組制作、取材記事掲載等 	A: 改修した空き家・空き店舗で開業した事業所数(件) B: 改修した空き家・空き店舗で開業した事業所の利用者数(延べ人数) (目標値) ⇒ (実績値) A: 3 ⇒ 3 B: 29,000 ⇒ 43,322	➤ 非常に効果的であった 家賃補助による空き店舗を活用した新規開業数は、コロナ禍もあり0軒であったが、豊前街道を対象とした空き家・空き店舗改修補助により目標値である3軒の店舗が新規開業した。 また、対象事業所の利用者数についても目標値を大きく上回り効果的であった。	➤ 計画通りに継続 関連事業の実施により一定の成果が得られているが、豊前街道沿線において利活用できる空き家等の物件が残存する中で、当該事業の継続により新たな賑わい創出と魅力あるまちなみ形成を図っていく。
豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ■ 豊前街道沿いの空き家・空き店舗の改修費用の補助実施 ■ 創業・開業に対する家賃補助の実施 	A: 改修した空き家・空き店舗で開業した事業所数(件) B: 改修した空き家・空き店舗で開業した事業所の利用者数(延べ人数) (目標値) ⇒ (実績値) A: 3 ⇒ 3 B: 29,000 ⇒ 43,322	➤ 非常に効果的であった 家賃補助による空き店舗を活用した新規開業数は、コロナ禍もあり0軒であったが、豊前街道を対象とした空き家・空き店舗改修補助により目標値である3軒の店舗が新規開業した。 また、対象事業所の利用者数についても目標値を大きく上回り効果的であった。	➤ 計画通りに継続 関連事業の実施により一定の成果が得られているが、豊前街道沿線において利活用できる空き家等の物件が残存する中で、当該事業の継続により新たな賑わい創出と魅力あるまちなみ形成を図っていく。